

その後の進展を左右する！ 用事が無いときのメールのコツ

2011.03.09 22:00 [コメント数：\[0\]](#)

-
-  チェック

[Ads by Google](#)

ジャパントイタイムズのセミナー

実践的なワークショップが効く <説明会受付中>対象 TOEIC 600～
academy.japantimes.co.jp



Photo by [Yume Photo](#).

こんにちは。恋愛スタイリストの石田明です。

気になる人にメールしたいけど送る内容に悩む…。デートに誘いたいけどいきなりじゃ…。よくありますよね？ どのタイミングで送れば良いんだろう？ ガツガツしすぎてもダメだし、送らないと忘れられてしまいそう…。

用事が無いときのメールは、相手が自分にどのような印象をもつかを左右します。今回は、用事が無いときにメールを送るコツ、そしてメールを続けるためのコツをご紹介します。

Ads by Google

YouTube 視聴をスピードアップ

Google が開発した無料ソフト "Chrome"でストレス無いYouTube 動画閲覧

google.co.jp/chrome

■まずは相手の生活リズムを知る

まず考えたいのが、相手の生活リズムです。これに合わせてメールを送ることで、相手にとって自分は「**同じ生活リズムの人**」「**同じ時間感覚で生活している人**」となり、共通点がひとつ増えます。逆に、これが食い違くと「私とは生活リズムが違う人」「なかなか時間が合わず、連絡がとりづらい人」となってしまう、相手から印象が悪かったとしても、遠い存在になりかねません。そこでチェックしておきたいポイントは以下です。

- だいたい起きている時間帯
- 仕事は何時頃までか
- 寝るのは何時頃か

わかる範囲で良いので、これらを意識してメールを入れるタイミングを考えましょう。寝ている時間や仕事中は、メールがきても返信を忘れてしまいがち。一度スルーされると、次に入れる勇気もなくなってしまうですね。

仕事中等などは「おはよう。今日も寒いね」など、返信がいらぬような短いメールの方が良いです。仕事後であれば、質問などの返信を求める内容を送っても良いでしょう。

■どのような内容をメールするか

次に、送る内容を考えるときのコツです。人は誰しも頼られるとうれしいもの。**相手に頼られていると、返信しようという心理が生まれます**。そこで、趣味や詳しいジャンルについて問いかけてみるのは相当無難です。きっかけとしては良いので、チェックしてみてください。たとえば、

- イベント好きの女性にたいして
「〇〇さん、最近オススメのイベントなにかあるかな？」
- 映画好きな女性にたいして
「〇〇さんが観た最近のオススメ映画って何かな？」
- グルメに詳しい女性にたいして
「〇〇さんのオススメのお店に行ってみたいなあ。」

など、あたりさわりのない内容で、きっかけをつくってみましょう。「最近どう？」「久しぶり！元気してる？」などの素っ気ない内容だと返信率が低く、内容が薄いとメールの回数が増えたときに退屈なので、注意が必要です。

■きっかけを作ったあとも重要

安心するのはまだ早いです。**メールは続かないと意味がありません**。1、2回のラリーで終わったり、返信が1日以上経ってからくるようではまだまだです。メールは、人によって入れてくるタイミングが違います。すぐに返してくる人、なかなか返してこない人、次の日になって返ってくる人...

相手も少なからず、**自分がどれくらいのペースでメールする人なのかを、知らず知らずのうちに意識しています**。返信が遅い人は、「この人のメールは明日でも大丈夫」などと思われてしまいがち。忘れられてしまうケースもあるので要注意です。

ポイントは「**早すぎず遅すぎず**」です。相手からのメールが「？」のついている疑問文の場合は、なるべく早く返信しましょう。「疑問にすぐ対応してくれた」「困ったとき頼れる」といった印象をもってもらえます。

それ以外の場合は、少し時間を置いても大丈夫です。全てにすぐ飛びついて返信してしまうと、「またすぐメールしないと...」とプレッシャーを与えてしまったり、「この人いつも暇してるな...」などといったマイナスな印象も与えかねません。**相手に合わせたペースでメールしましょう**。

自分が仕事などでどうしても返信が遅れてしまった場合は、「返事遅れてごめんね」「ごめん、仕事忙しくて返せなかった」などといった言葉から入ってあげると、自分のメールしたいペースをさりげなくアピールできます。「この人は仕事がおわったら返してくれる」「返信できないのを気にかけてくれてた」という印象をもってもらえますし、相手も自然にメールするペースを合わせてくれるはず

たかがメールといえども受ける印象は様々。いやらしくないアピールをしましょう。メールするのがうまい人は「**相手に合わせたうえで、自分も出せる人**」なのです。

(石田明)